

東京芸術大学百年史刊行にあたって

東京芸術大学の前身である東京美術学校および東京音楽学校の創立以来、現在に至るまでの同大学百年の歴史を、その創立前史を含めて『東京芸術大学百年史』全六巻（東京美術学校篇三巻、東京音楽学校篇二巻、東京芸術大学篇一巻）として刊行する。

学内に百年史編集委員会が組織され、この計画が具体化したのは昭和五十六年のことであったが、すでにそれ以前より美術学部美術教育研究室、教育資料編纂室および音楽学部音楽研究センターにおいてそれぞれ同大学における芸術教育史資料の収集と研究は進められていた。

桑原実監修、磯崎康彦・吉田千鶴子著『東京美術学校の歴史』（昭和五十二年、日本文教出版株式会社）や、浜野政雄・服部幸三監修、音楽取調掛研究班（楽理科研究室、音楽教育研究室、邦楽研究室、音楽研究センター）の教官および研究員二十九名によって組織）編『音楽教育成立への軌跡』（昭和五十一年、音楽之友社）はその成果の一端である。これらの蓄積された資料を基礎に、改めてその充実と具体的な編集活動に入ったが、当初から資料収集にたずさわってきた森節・吉田千鶴子の両氏を中心に、橋本久美子・村田哲朗の両氏が加わって実務を担当し、執筆も主としてこれら四氏をわずらわせた。なお、当初学内に設けられた百年史編集委員会は、芸術研究振興財団のうちに東京芸術大学百年史刊行委員会が設けられるに及んで、刊行の業をこの委員会にゆだねることとなった。

この間、昭和五十七・五十八両年度の文部省科学研究費補助金による総合研究「日本近代芸術教育史の資料的研究」（研究代表者山川武）の研究成果をとり入れ、また諸機関ならびに卒業生、その関係者をはじめとする多くの方々から好意的な資料の提供と協力を仰ぐことができ、ここに美術学校篇・音楽学校篇第一巻を刊行するに至った。各位の御協力にあつく感謝するとともに、なお先の長いこの仕事に今後の大方の御協力を切にお願いする次第である。

昭和六十二年八月

東京芸術大学百年史編集委員長

水野 敬三郎